

福井市にぎわい交流施設

所 在 地	福井市中央 1 丁目 2 - 1
所管課等	都市整備課

1 指定管理者の概要

名 称	まちづくり福井株式会社	代表者	松尾 大輔
所在地	福井市中央 1 丁目 2 - 1		

2 指定管理期間

平成 3 1 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 3 1 日（第 2 期）

3 施設の利用等の状況

	第 1 期			第 2 期				
	H28 年度 導入 1 年目	H29 年度 導入 2 年目	H30 年度 導入 3 年目	R 元年度 導入 4 年目	R2 年度 導入 5 年目	R3 年度 導入 6 年目	R4 年度 導入 7 年目	R5 年度 導入 8 年目
利用者数 (人)	281, 329	293, 162	276, 823	275, 176	116, 371	100, 644	179, 922	293, 945
前年度比 (人)	-	11, 833	▲16, 339	▲1, 647	▲158, 805	▲15, 727	79, 278	114, 023
前年度比 (%)	-	4. 2	▲5. 6	▲0. 6	▲57. 7	▲13. 5	78. 8	63. 4
利用料金 (千円)	26, 875	29, 203	30, 375	28, 774	17, 099	25, 830	27, 086	36, 195
前年度比 (千円)	-	2, 328	1, 172	▲1, 601	▲11, 675	8, 731	1, 256	9, 109
前年度比 (%)	-	8. 7	4. 0	▲5. 3	▲40. 6	51. 1	4. 9	33. 6

4 納付金・指定管理料の状況

	H28 年度 導入 1 年目	H29 年度 導入 2 年目	H30 年度 導入 3 年目	R 元年度 導入 4 年目	R2 年度 導入 5 年目	R3 年度 導入 6 年目	R4 年度 導入 7 年目	R5 年度 導入 8 年目
指定管理料 (千円)	72, 526	71, 056	71, 080	63, 866	64, 738	67, 306	67, 799	67, 800
納付金	-	-	-	-	-	-	-	-

5 要求基準と達成状況（進捗状況）

要求基準	達成状況
年間稼働率 ・屋根付き広場 86%以上 ・多目的ホール 68%以上	・屋根付き広場 75% ・多目的ホール 66%
指定事業の実施回数 ・施設ごとに年 12 回以上実施	・屋根付き広場 14 回 ・多目的ホール 12 回
にぎわいの創出 ・土、日、休日に、イベント等が実施されている状況を維持	土、日、休日のみの稼働率 ・屋根付き広場 99% ・多目的ホール 94%
にぎわいの波及 ・中心市街地の近隣商業施設等と連携したイベント等を実施	・連携イベント等の開催 5 回

※稼働率は、施設利用キャンセルのあった日を稼働日に含め算出

6 利用者から寄せられた苦情・意見等及びその対応状況

《施設・設備に関すること》

内容：（京都能楽より）伝統芸能練習室の楽屋利用の際、飲食可能にしてほしい。

対応：福井においては、地元能楽関係者の意向により、伝統芸能練習室における飲食は認めていない。
ご理解いただきたい。

内容：リハーサル室が少し埃っぽい。

対応：貸出し後には必要に応じて清掃を行っているが、ご意見いただく前の利用がフラダンスやボデ
イメイクだったため埃が出るとは思わず、利用後の清掃を行わなかった。今後は気を付ける。

《職員の対応に関すること》

内容：ステージ利用で堀有の箇所のイスが取り外されてなかった。打ち合わせで確認したはずだった。

対応：堀有で椅子を取り外すと堀の部分に来場者が落ちてしまう可能性がある。打ち合わせ時の説明
が間違っていた。今後気を付けるように職員への指導を行った。

7 利用促進等に向けた取組みの実施状況

計 画	実施状況
備品・環境の整備	【ハピテラス】 ・アオッサから西武までの情報を紙媒体で掲示するまちなか情報ボードが劣化してきたため、新幹線開業前にA 1ポスター6枚が貼れるポスター専用掲示板に一新し、より伝わりやすい広告の掲出場所とした。併せて、禁煙看板や防犯カメラ監視中の看板も一新し、施設の環境整備を行った。 【ハピリンホール】 ・利用形態により配置が異なるPAブースについて、ブースを囲うパネルを整備し、利用形態に関わらず客席から音響操作の様子が見えないようにした。 【ハピテラス・ハピリンホール】 ・イベント時に使用できる案内板を増やしてほしいとの要望を受け、L型スタンドとホワイトボード案内板を7セット購入し、利用者へ無料で貸し出すようにした。
施設の利用促進及びPR	・にぎわい交流施設におけるR5年度の年間稼働率は、休日の94～99%と比較して平日が52～63%と大幅に低くなっている。平日の稼働率が低い要因の一つとして、平日のハピテラスで継続して行っていた「わたしのマルシェ」「こども広場」「キッチンカーランチ」などを実施しなくなったことが挙げられる。R6は、毎週火曜日に「まちなか恐竜体操」を実施するなど平日におけるハピテラスの利用促進を図り、にぎわい創出につなげていく。 ・月別稼働率では、ハピテラスの4月（稼働率53%）、6月（稼働率43%）が特に低かった。稼働率に含まれない部分利用は多いものの、平日に1/4面以上利用するケースは連続利用する場合を除き少ない。ハピリンホールは、例年と同様、企業の総会が多く開催される6月を除く4～8月が50%台と低かった。R6は、例年下半期に実施していた体験型イベント「ハピリンLabo」や新規イベント「妖怪フェス」を夏頃に実施するなど、指定・自主事業を上半期に増やすことで、ハピリンホールの利用促進につなげていく。 ・リハーサル室の単独利用日数は年間160日あまりと定着してきた。平日利用の新たな分野を探していきたい。
利用者アンケートの実施	利用者へのアンケートの結果、施設及び備品ともに利用料金については「普通」「安い」という意見が8割以上であった。例年同様、職員の対応・サービスに改善を求める意見はなく、利用全般について概ね納得は得られているものと考えられる。

指定事業等の実施	・北陸新幹線福井開業にあたり、観光客に味のおもてなしを展開し福井ブランドの強化を図るため、「あげ」「もち」「メロン」など、1つの食材に特化したイベントを毎年開催している。特に「あげ」については、多くのマスコミに取り上げられ大変注目度が高いことから、福井の食の目玉の一つとして県外客向けPRに引き続き力を入れていく。 ・県内を中心に活躍するイラストレーターらが、ハピテラスでライブペイントやステージを行うアートイベント「FUKUI ARTIST ACTION」を開催した。多くのイラストレーターによるアートな側面を強調した内容にしたことで、アートに興味を持つ人々が多く集うイベントになった。今後もイベントを通じたアート作品制作の場を提供していき、ハピテラスを県内のアートや文化コミュニティの発展を支援するプラットフォームにしていきたい。また、今回はイベント実施にあたり商店街と連携して開催した。今後も近隣商業施設と積極的に連携していくことで、まちなかへのにぎわい波及を図りたい。
----------	---

8 施設、設備の維持管理の状況

項目	実施状況及び確認方法
保守点検、運転、監視業務	空調設備、電気設備、消防設備等の保守点検業務を委託により実施。 (点検報告書、聞き取りにて確認)
清掃業務	直営及び委託により、日常清掃及び定期清掃を実施。 (日報及び事業報告書、聞き取りにて確認)
保安警備業務	警備会社に委託し、機械警備を実施。 (日報及び事業報告書、聞き取りにて確認)
備品管理	備品台帳を整備し、損傷、経年劣化等の状態確認を随時実施。 (備品台帳、事業報告書、聞き取りにて確認)
小規模修繕	基本協定書に基づき、年間200万円の範囲内で実施。 (事業報告書、聞き取りにて確認)

9 指定管理者のコメント

新型コロナウイルスの影響による集客数の減少は、ほぼ回復した。特にハピテラスでは、北陸新幹線の開業による効果で、3月の集客数は過去最高の13,210人から47,002人と驚異的に増えた。今後は、弊社が新たに管理するUL0、観光交流センター、ヨリバとハピテラスとの連携強化が課題となる。これらの施設が日常的に活用され、活気ある場、やすらぎの場として地域に定着するために、継続的な仕組みづくりが重要と考える。

特にハピテラスと観光交流センターは、福井駅の東西をつなぐ重要な施設であることから、ハピテラスで指定・自主事業を実施する際には観光交流センターで関連イベントを実施するなど、イベントの効果をより高められるよう活用していく。そして、これらの施設が、福井の文化や魅力を発信する拠点として、さらに訪れる人々にとって魅力的な体験の場となるよう強力な連携を築いていきたい。

また、ハピリンホールにおいては、建設から50年経った能舞台を多方面に有効活用していくとともに、子ども向け寄席やサイエンス教室など子供たちが体験できるイベントを充実させていくことで、若い世代の利用者数増加を図る。

10 所管所属の所見

屋根付き広場、多目的ホールともに年間稼働率の要求水準は達成できなかったものの、土日祝日だけに限れば稼働率は非常に高く、休日にまちなかでイベント等が実施されている状況を維持することができた。「メロン」や「あげ」など福井を代表する食材の一つにフォーカスしてその魅力をPRする事業や、恐竜や工芸品など地域資源を活かす事業、小中高生がダンスや音楽などを発表する場を設ける事業など、多彩なジャンルの事業を実施して様々な人がまちなかに集まるきっかけを作っており、まちなかにおけるにぎわい創出の核として大きな役割を果たしていると言える。

施設及び備品の維持管理については、保守点検や清掃、警備業務等すべて適正に実施されている。利用者からの意見を取り入れ、令和5年度においては案内板の増設や一部のイベント時にQRコード決裁を導入するなど、利用者の利便性を向上させた。

今後は、北陸新幹線福井開業の効果を最大限に発揮できるよう福井ブランドの強化や発信につながる事業を積極的に実施するほか、土日祝日だけではなく平日においてもにぎわいを維持すること、周辺施設等と連携してまちなか全体ににぎわいを波及させていくことができるよう、次年度事業に取り組んでほしい。

11 指定管理者、施設所管所属の評価

評価項目	視点	評価		方法	採点理由
		指定管理者	所管所属		(1)管理項目 月 日確認 (提出書類・施設据付帳簿)
(1)管理運営 (ア)維持管理業務	保守管理 ・清掃、法令点検の確実な実施	3	3	・点検名、実施回数等のリストの確認 ・関係書類の確認等	6月17日確認 (提出書類・施設据付帳簿)
	保安業務 ・保安警備の実施状況	3	3	・機械警備についての確認 ・職員による巡回警備の確認等	6月17日確認 (提出書類・施設据付帳簿)
	備品管理 ・適正な備品管理、台帳の整理 ・市の備品と指定管理者の備品の区分け	3	3	・現地調査で台帳と照合等	6月17日確認 (提出書類・施設据付帳簿)
	(イ)運営業務 利用時間や休館日の設定状況 ・条例に基づいた営業内容か	3	3	・業務日報等の確認等	6月17日確認 (提出書類・施設据付帳簿)
	受付・承認・利用料金の收受と管理 ・一連の事務の適正な実施	3	3	・関係書類や現地調査により確認等	6月17日確認 (提出書類・施設据付帳簿)
(ウ)報告業務	事業報告書や収支計画書等の提出状況 ・適正な時期、内容での提出	3	3	・関係書類の確認等	6月17日確認 (提出書類・施設据付帳簿)
(2)サービスの内容 (ア)利用促進の取組	PR活動の推進 ・市政広報やマスメディアの活用 ・ターゲットを絞ったPR	3	4	・関係書類の確認等	様々な媒体を活用し、積極的にPR活動を行っている。
	他施設や地域との連携 ・地域住民との交流 ・地域性を活かしたイベントの開催	3	3	・関係書類の確認等 ・職員へのヒアリング等	
	(イ)サービス向上 の取組み 利用者アンケートの活用 ・アンケートの積極的な実施 ・利用者の声の施設運営への反映	5	5	・関係書類の確認等	定期的にアンケートを実施し、利用者の意見を施設運営や事業に反映している。
	自主事業の実施状況 ・自主事業の積極的な実施 ・新規プログラムの開拓	5	5	・事業報告書の確認等	新規テーマの自主事業を積極的に実施している。
	(ウ)要求基準の 達成状況 あらかじめ設定した数値目標の達成度 ・利用者の増減等	2	2	・事業報告書の確認等	年間稼働率が要求基準未達である。
(エ)応募時の提案 事項の実施状況	提案事項の実施状況 ・提案事項の確実な実施	3	3	・事業報告書の確認等	
(3)安定性 (ア)管理運営体制	職員の配置状況 ・正職員とアルバイトの配置バランス ・有資格者の配置バランス ・有資格者の適切な配置	3	3	・関係書類の確認等 ・職員へのヒアリング等	
	労働関係法令の遵守 ・適正な労働条件、環境 ・休日の適正な付与	3	3	・関係書類の確認等 ・業務日報等の確認等	
	職員の資質向上の取組み ・定期的な研修の実施	3	3	・関係書類の確認等	
	(イ)法令等の遵守 個人情報の 管理状況 ・法令等に沿った管理運営 ・個人情報に関する研修の実施 ・マニュアルの有無	3	3	・関係書類の確認等 ・マニュアルの確認等	
	(ウ)安全・衛生 対策 ・安全・衛生面への配慮 ・事故防止対策の有無 ・AEDの適正な管理 ・食中毒防止のための対策	3	3	・現地調査で施設の確認 ・職員へのヒアリング等	
(エ)危機管理 対策・緊急時対策	・緊急時(災害等)の対応ができる体制の整備 ・マニュアルの有無	3	3	・関係書類の確認等 ・マニュアルの確認等	
(4)収支状況 (ア)経理処理状況	・一つの口座での会計 ・適正な内部監査体制	3	3	・会計帳簿と金融機関口座の照合 ・監査結果の確認等	
	(イ)経費削減の 取組状況 ・光熱水費の削減 ・再委託費の適正な水準	3	3	・関係書類の確認等 ・職員へのヒアリング等	
合計		63	64		
割合(合計/100点満点)		0.63	0.64		

★※評価で3点以外の評価をする場合((1)管理運営含む)は、採点理由に理由・根拠を必ず記入すること。

【参考】全期モニタリング採点基準表(指定管理者及び所管所属)

業務の結果	点数	備考
未実施や実施の遅延がある	1～2点	未実施や遅延の程度に応じて採点理由を採点理由欄に記載すること
標準(協定等に規定されていることを最低限満たしている。)	3点	
事業の実施により、よりすぐれた効果が現れている	4～5点	効果の程度に応じて採点理由を採点理由欄に記載すること

*福井市指定管理者事務処理マニュアル抜粋